



千代田区障害者就労支援センター通信

ちよだジョブコーチャージャーナル

働くことを応援する

No.72

株式会社 FP パートナー

「人と人との温かいつながりがあり、“チームワークが良い”」

保険の代理店や“お金のかかりつけ医”というキャッチフレーズを用いて金融のサービス事業を全国展開している株式会社 FP パートナーへ取材しました。管理部業務サポート課 課長遠藤さんより障害者雇用の現状や今後の展望についてお聞きして、社員の峰島さん、三浦さんのお二方からは入社きっかけや職場環境等のお話をいただきました。

●障害者雇用の経緯

約8年前に事業拡大が進み、その影響からSDGsの意識が高くなったことから、社内からも障害者雇用の要望や訴えが多くあったことが始まりでした。その後、話し合いを重ねていき、障害者雇用の起ち上げが決まると、急ピッチで採用活動を行い、初年度は7名からのスタートでした。

現在では20名の方が働いています。

●採用と定着について

障害割合は身体・知的・精神がいずれも3分の1ずつとなっています。

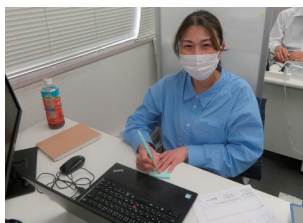
業務は事務補助や清掃業務などのお仕事を主にお願いしています。採用の際に大切にしていることは、障害の内容ではなく性格やその方の人柄を重視しています。それ以外にも、在籍している社員や環境面の適合も意識しています。配慮事項については当事者本人に聞きとりをして、出来る事・出来ない事を極力、お応えする形で社内にて検討します。

障害者雇用を進めていくに当たり実感していることは採用とその後の定着との“両立”が難しいという事です。

障害の種類や特性に関わらず一緒にの部屋にて業務を行うため、時には当事者同士でぶつかる事もあり、解決を図る事が難しい場合もあります。業務上でトラブルが起きた時は、社員一人ひとりに聞き取りをしていくことで、歩み寄れるように、一緒に考えていくことを大切にしています。

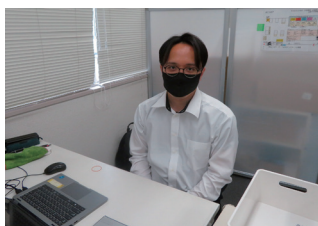
●障害者雇用社員インタビュー

①入社したきっかけ②希望している配慮③困り事が発生した時の工夫④将来像⑤FPパートナーの魅力についてお聞きしました。



★お一人目は峰島さんです。
(聴覚障害)

①ハローワーク新宿の紹介がきっかけでした。“取り組みやすい事務仕事”と紹介で、自分にもできると感じた事が決め手です。②口の動きが読めるので説明の際は口元が見えるよう配慮してもらっています。苦手な仕事は分かりやすい説明をお願いしています。③業務内容がわからない場合はすぐ質問して確認しています。教わった内容のメモを取り見返せるようにしています。④契約社員なので正社員を目指しています。⑤人と人との温かいつながりがあり、“チームワークが良い”ことを伝えていきたいです。すぐに相談できる環境で安心して働くことができます。



★お二人目は三浦さんです。
(発達障害)

①元々就労移行に通っており、就労準備が出来た段階で、ハローワークにて紹介を受けました。②ASDの診断を受けています。業務は役割の分担を明確にもらうことや他にもコミュニケーションが不得意なことを伝えています。その結果、業務内ではチャットを活用した業務指示を受けているため業務の理解もしやすいです。他にも部署の環境が静かなため過ごしやすく感じます。③報連相は元々苦手でしたが就労移行で訓練したため、その成果を現在活かすことができ、慣れてきていることを実感しています。また各階に管理者がいて相談できることは安心です。支援者に定着支援や他にも必要に応じて電話にて相談しています。④将来は今の仕事を積み重ねて、正社員になりたいです。⑤業務を行う際に丁寧な説明があるため、障害をもっている方でも非常に働きやすい環境です。さらにチームワークや助け合いの精神があるため社員同士がお互いに困っていることをフォローしあえることが良いです。

●障害者雇用で大切にしていること

長く勤めてもらうためにも、勤怠の安定が大切になるので、環境整備には力を入れています。支援機関との連携も重視しており、社内での面談を定期的に行うことで、社員からの要望を聞き取り必要に応じての頻度に調整して柔軟に行っています。特に生活面の困り事は社内での解決も難しく、業務にも影響が出てしまうこともあるため、そういった場合には支援機関との連携を取っています。

業務調整において事務作業では個人情報に関わる物が多く、会社のサーバーにつながっていることから、業務切り出しが難しい場合があります。しかしオフラインの状態での入力を行い、その後に内容確認してからオンラインにするなど工夫をしています。

●今後の展望について

現在は、管理部が中心となって障害者雇用の対応を行っています。そのため、まだ社内全体での障害者への理解が進んでいるとは言えないところもあるため、少しずつ障害者への理解を深めていくことで障害者雇用への更なる促進を図っていきたいと考えています。また全国に拠点があるため、障害者雇用を積極的に取り組んでいるという姿勢を体現し、雇用の定着を通じ安定して働いてもらえることで、社会で障害者が活躍していくことを浸透させていきたいです。

●取材を終えて

社員同士のチームワークの良さや相談し易い雰囲気印象的で、職場環境が働きやすさの活気に繋がっていました。安心して働き続けられる環境は、日々の積み重ねによって築かれているのだと感じました。
(取材・構成 樋口、有馬)

EVENT × NEWS

就労継続支援B型事業所 aloha 水道橋 ～仕事を通して社会とつながる幸せを～



aloha 水道橋は令和7年7月に開所した軽作業メインの事業所です。「就職したい」「居場所として通いたい」「生活リズムを整えたい」「自信を持ちたい」など、様々な思いを持った方が通所されています。また、令和8年2月より施設外就労として特別養護老人ホームにて、乾燥・たたみ等のリネン業務を行っております。社会との交流を図りながら、仕事を通して社会とつながる喜びを感じていただけるよう支援しています。何事にも柔軟に対応し、安心して過ごせる、笑顔の絶えない陽だまりのような居心地の良い事業所です。見学・体験はお気軽にお問い合わせください。明るく親しみやすい職員一同、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

(住所) 千代田区神田三崎町 2-4-6 千代田第一ビル 6F

(受付時間) 月～土 8:50～17:50 (祝日含む)

(電話) 03-6272-5513 (FAX) 03-6272-5514

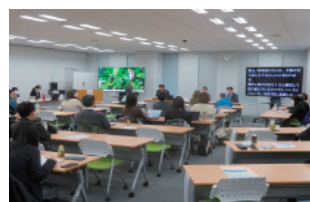
(HP) <https://mode-five.com/suidobashi/>

(最寄り駅) JR 水道橋駅から徒歩4分、都営三田線水道橋駅から徒歩7分、都営新宿線神保町駅から徒歩7分

令和7年度第4回地域交流会

～合理的配慮による企業の活性化～

令和8年2月26日(木) 横浜市立大学名誉教授 CSR & サステナビリティセンター長 影山摩子氏、太平ビルサービス株式会社 東京支店 障害者雇用担当・企業在席型職場適応援助者 東京都教育庁 就労支援アドバイザー 猪又善司氏をお招きし、地域交流会を開催しました。



第1部では影山氏より、経済学の視点から障害のある方が戦力として企業で活躍するためのポイントやその効果、それにより、心理的安全性が高まり、生産性向上につながることにについて事例を交えて説明していただきました。

第2部では猪又氏より企業における障害者雇用の取り組み事例として、国家資格の取得や社内研修の企画、インターンシップでの指導や採用の可否を任せるなど、責任を持って仕事に取り組めるような仕組みづくりについてお話ししていただきました。

第3部では事前質問を中心にトークセッションを行い、仕事の切り出し方、具体的な対応方法などをテーマに行いました。閉会後には講師や参加者同士で名刺交換が活発に行われました。

就労支援のお問い合わせ

電話：03-3264-2153 FAX：03-3556-1223

E-mail: chiyoda.syuroushien@city.chiyoda.lg.jp

HP: <https://chiyoda.syuroushien.jp/>

〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3 階



発行：千代田区障害者就労支援センター 第72号 (令和8年6月22日発行)

取材内容：株式会社FPパートナー

毎回、働く障害のある方やその職場を紹介していきます。次号もご期待下さい。

